



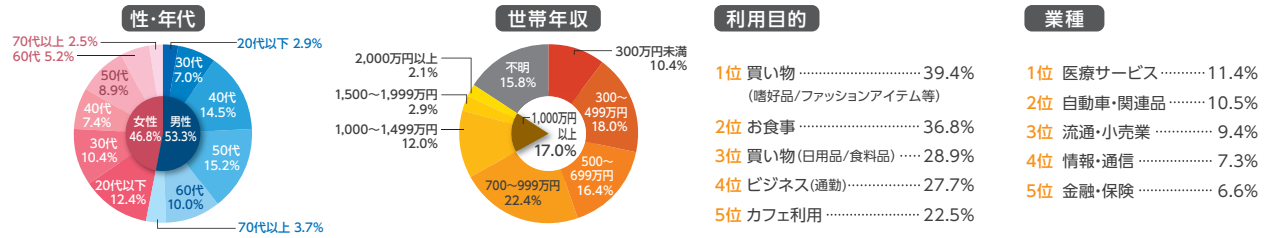
在来線プロフィール

在来線プロフィール調査2022

- 調査時期:2022年11月
- 調査方法:インターネット調査
- 調査対象:該当駅/該当路線を1ヶ月に1回以上利用
- サンプル数:2,000サンプル
- 調査主体:株式会社ジェイアール東海エージェンシー
- 実査委託先:楽天インサイト株式会社

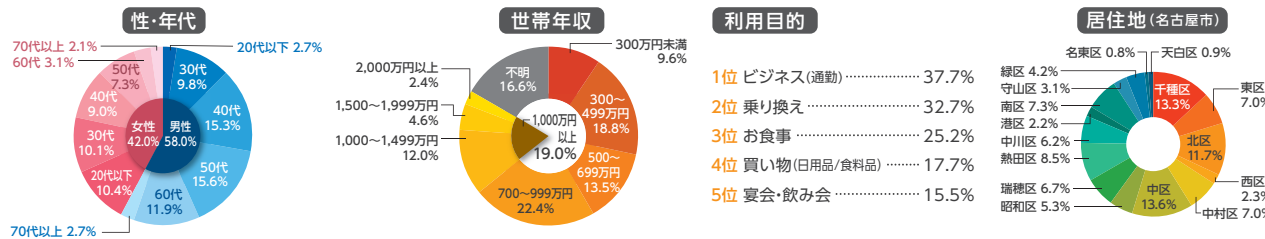
名古屋駅 東海地区最大の交通拠点となる駅。利用目的の上位3位を買い物/食事/通勤で占めていることから、プライベートからビジネスまで幅広く利用されていることがうかがえる。

連絡線 **新 東 中 関**
名 近 地 あ



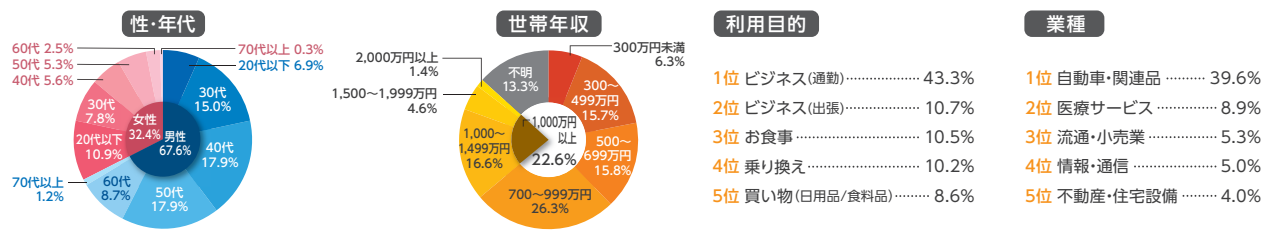
金山駅 名古屋駅に次ぐターミナル駅。駅利用者の多くが名古屋市在住で、居住地内駅でも市内の区に大きな偏りが少ないことから、乗り換え地点として多く利用されていることがわかる。

連絡線 **東 中 名 地**



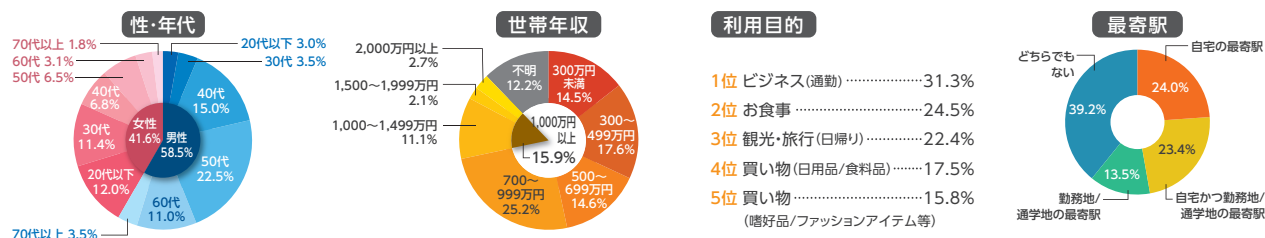
刈谷駅 自動車関連企業が多数。通勤客でにぎわう駅。駅利用者が勤めている会社の業種も2位を大きく引き離して「自動車・関連品」が首位となっている。

連絡線 **東 名**



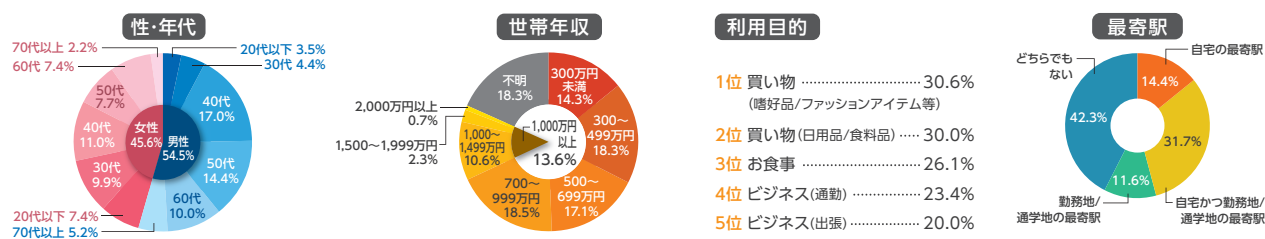
岐阜駅 構内や周辺の商業施設が充実しており、人の往来が多い駅。勤務地からの最寄駅よりも自宅からの最寄駅の利用者が多く、ベッドタウンとしても機能していることがうかがえる。

連絡線 **東 高 名**



静岡駅 駅周辺に行政機関や商業施設、住居がまとまり、コンパクトシティ化されている。利用目的の上位2位が「買い物」で、利用者の生活に密着した駅であると推察できる。

連絡線 **新 東 静**

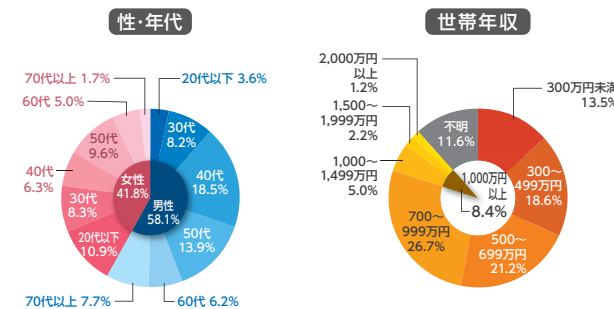


※少数第二位を四捨五入して算出

連絡線 **新 東 中 関 飯 高 地**
あ 名 近 愛 豊 遠 静

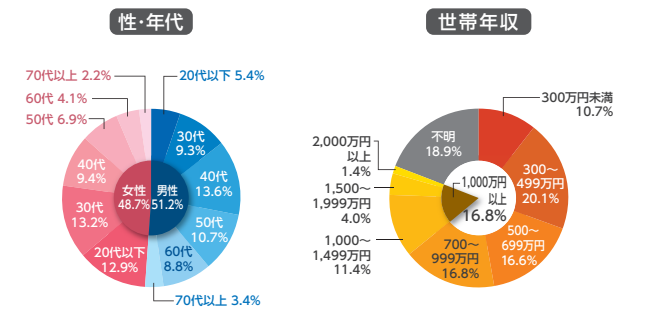
尾張一宮駅 ベッドタウンとしてファミリー層に人気のある駅。

連絡線 **東 名**



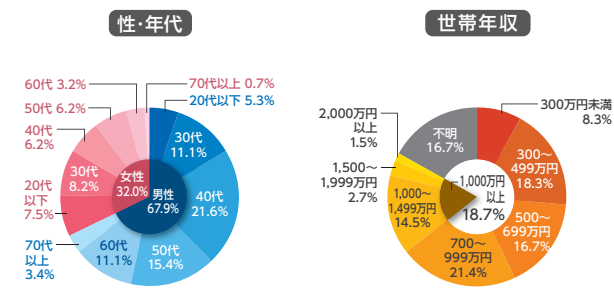
千種駅 予備校も多数あり、若年層の利用が多い駅。

連絡線 **中 地**



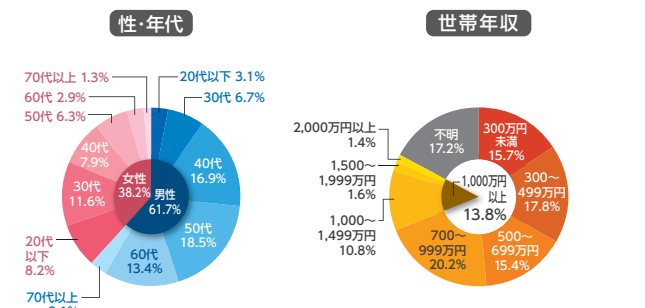
豊橋駅 東三河エリアの拠点となる大型ターミナル駅。

連絡線 **新 東 飯 名 豊**

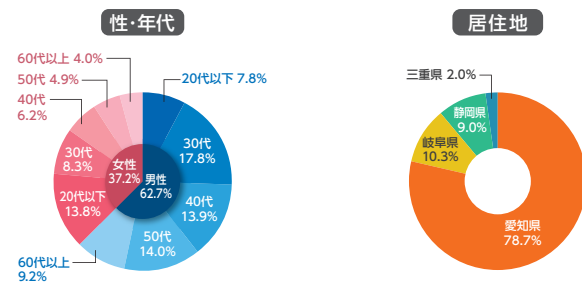


浜松駅 商業施設やオフィスビルが林立し、ビジネス客や観光客で賑わう駅。

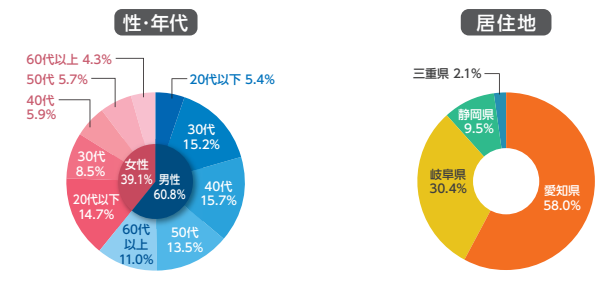
連絡線 **新 東 遠**



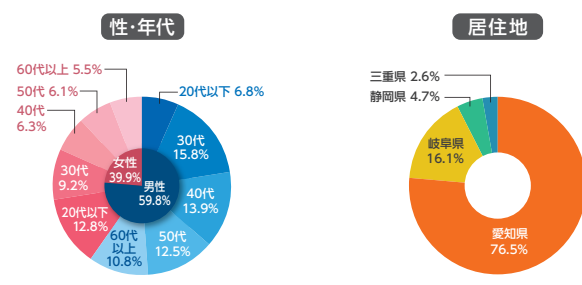
東海道本線 [名古屋-豊橋間]



東海道本線 [名古屋-岐阜間]



中央本線 [名古屋-多治見間]



在来線駅 乗車人員

順位	駅名	乗車人員(千人/日)	順位	駅名	乗車人員(千人/日)
1	名古屋*	177.2	8	千種	24.3
2	金山	63.5	9	尾張一宮	23.4
3	静岡*	49.5	10	豊橋*	23.2
4	大曽根	30.2	11	鶴舞	18.3
5	浜松*	30.2	12	高蔵寺	17.4
6	岐阜	27.2	13	岡崎	15.3
7	刈谷	25.4			

※JR東海公表(2022年度)(*新幹線・在来線合計)